



沖縄県国頭村

# 議会だより

題字・奥間小学校4年 おおしろ 大城 みらん 未蘭



令和5年9月1日発行

第130号

ホテル誘致について

林業振興における国頭村過疎地域持続的発展計画

国頭村方面への高規格道路の延伸について

教育行政(学校教育の充実)について

総合体育館の今後の運用計画

地域福祉の現状と課題

国頭村立東部へき地診療所の車両及び施設について

行政懇談会の開催について

～ 村民の声を行政へ ～

一般質問 令和5年第4回国頭村議会 (6月定例会)



## 令和5年第4回 定例会 (6月)

議案番号	件名	議案等の概要	結果
議案第30号	令和5年度国頭村一般会計補正予算(第2号)	189,043千円の増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第31号	令和5年度国頭村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	4,195千円の増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第32号	令和5年度国頭村簡易水道特別会計補正予算(第1号)	4,790千円の増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第33号	国頭村新庁舎建設基金条例を廃止する条例について	新庁舎建設事業が完了したことに伴う条例の廃止	原案可決 (全会一致)
議案第34号	姉妹都市盟約の締結について	鳥取県岩美町との友好・親善を深め両地域のさらなる繁栄と発展を資するための姉妹都市盟約締結	原案可決 (全会一致)
議案第35号	学びの森遊歩道改修工事請負契約の変更について	今回変更による増額 25,140,500円 変更後の契約金額 159,868,500円	原案可決 (全会一致)
議案第36号	令和4年度宇良ポンプ場施設整備工事請負契約の変更について	今回変更による増額 7,257,800円 変更後の契約金額 69,418,800円	原案可決 (全会一致)
議案第37号	国頭村過疎地域持続的発展計画の一部変更について	国頭村過疎地域持続的発展計画の一部を変更	原案可決 (全会一致)
議案第38号	伊地地区公民館建築工事請負契約について	契約の方法:指名競争入札 契約の金額:65,956,000円 契約の相手方:有限会社 昭建設	原案可決 (全会一致)
議案第39号	スポーツコンベンション観光振興事業陸上競技大会対応備品の取得について	取得数量:陸上競技大会対応備品 一式 取得金額:17,710,000円 契約の相手方:株式会社 沖縄スポーツ	原案可決 (全会一致)
報告第2号	令和4年度国頭村繰越明許費繰越計算書の報告について	地方自治法施行令第146条第2項の規定による報告	報告

## 令和5年第5回 臨時会 (8月)

議案番号	件名	議案等の概要	結果
議案第40号	令和5年度国頭村一般会計補正予算(第3号)	178,896千円の増額補正	原案可決 (賛成多数)
議案第41号	奥小学校改修工事請負契約について	契約の方法:指名競争入札 契約の金額:73,480,000円 契約の相手方:有限会社 昭建設	原案可決 (全会一致)
議案第42号	安田小学校改修工事請負契約について	契約の方法:指名競争入札 契約の金額:145,200,000円 契約の相手方:株式会社 北勝建設	原案可決 (全会一致)
報告第3号	議会の委任による専決処分の報告について (国頭球場防球ネット工事)	今回変更による増額:948,200円 変更後の契約金額:64,198,200円	報告
報告第4号	議会の委任による専決処分の報告について (国頭球場ラバーフェンス工事)	今回変更による増額:1,196,800円 変更後の契約金額:75,996,800円	報告
報告第5号	議会の委任による専決処分の報告について (安田小学校校舎建築工事)	今回変更による増額:3,984,200円 変更後の契約金額:82,084,200円	報告

### 賛否が分かれたもの

○賛成 ×:反対 欠:欠席

議案番号・件名	採決の結果	島袋晴美	大田孝佳	山川安雄	山城正和	渡口直樹	与儀一人	知花正寛	宮城誠	金城利光	山城弘一(議長)
議案第40号 (一般会計補正第3号)	原案可決 (賛成多数)	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—



知花 正寛  
議員

**問** ホテル誘致について

**答** 知花靖 村長  
事業者が望む候補地を考察し、所有者に対し意向確認を進めている。課題が多く候補地の確定には至っていない。引き続き候補地について調査業務に取り組んでいく。

**問** 人口減少歯止め策について

**答** 村長  
長野県南箕輪村は移住・定住施策等については、県内トップ人口増加率となっている。本村でも同様な施策を実施しているが、人口増加率の要因は多岐にわたるものと考えます。本村と類似した先進事例の情報を収集し、視察については南箕輪村を含め機会があれば検討したい。

**問** 毎日のように子育て支援無料にしますとの報道がされてい

る。岸田首相が国会で「異次元の子育て支援」と答弁している。国も異次元の子育て支援策をやるというので、就学資金の給付・保育料の無償化を先駆けてやったらどうか

**答** 村長

国頭村は子育て支援策に力を入れていきます。人口減少対策の何か特効薬がないかと感じているところで、非常に難しいと思っておりますが、人口減少の様々な要因を一つ一つクリアしながらホテル誘致、企業誘致も含めながら、今後取り組んでまいります。

**問** 奥ヤンバル鯉のぼり祭りの復興について

**答** 村長

奥区の主催、奥郷友会の協力の下で30回まで取り組んできた。高齢化等による人材不足で継続が難しく、令和元年を最後にその後は実施されていない。奥ヤンバル鯉のぼり祭りの復興については、地域が自主的、主体的な地域づくりとして開催してきた催事であり、村行政が主体となることは望ましくないと考える。



**問** 名護の桜まつりは、名護青年会議所が主催してやっている。本村の商工会・観光協会が主体となって、奥ヤンバル鯉のぼり祭りを復興する考え方もあるがどうか

**答** 前田浩也 商工観光課長

奥ヤンバル鯉のぼり祭りは、高齢化が進んで中止になっていくが、奥区の動向を見ながら、村も協力できるところは協力していきたい。

**問** 観光協会、商工会、村、奥区が集まって奥ヤンバル鯉のぼり祭りの復興に向けての話し合

いの場をつくったらどうか  
**答** 商工観光課長  
村役場内でも検討していきたい

**問** 北国小学校等の跡地利用について

**答** 村長

北国小学校・佐手小学校跡地利用検討委員会を発足させ、活用方策について検討していく

**問** 歴史民俗資料館について

**答** 村長

観光物産センターの展示室を国頭村の貴重な文化財を楽しめる学べることを目標にリニューアルを進めています。同展示室の運営を通して、具体的なニーズの把握、実態調査を行いながら「歴史民俗資料館」の整備について検討していく

**問** 比地長尾土地改良区灌漑施設整備等について

**答** 村長

令和4年度において、比地地区灌漑施設整備可能性調査を実施した。今後、令和6年、令和7年に事業採択、事業実施を目指して県と調整を進めていく。





一人 議員  
与儀 議員

### 国頭村過疎地域持続的 発展計画について

本村林業のこれまでの過疎対策と課題、今後の見通しは森林面積が村土の約8割を占める沖縄県を代表する森林・林業地域である。自然との共生を目指し、森林利用区域を明確化して、計画的・効率的かつ適切な森林施業に努め、森林環境保全事業や高性能林業機械導入の促進、木材加工品の合理化と林業技術者の育成により林業の安定化を図る。

今後は、こうした課題を踏まえ、これまで実施してきた過疎対策に向けた各種施策の効果について検証を行った上で、実効性のある施策を展開していく必要があるとのことである。

**問** 国頭村森林組合において、家具や工芸品等の木材加工品の開発を行っているが、新たな加工品の開発が求められていると

のことですが、森林施業の計画的推進により、生産材の持続的な確保に努めるとのことですが、伐採計画と作業道等の5か年計画を伺う。

**答** 知花靖村長

森林組合に確認したところ、現時点では木材加工品開発は行っていないとのことでした。今後、森林組合から工芸品開発等に関し、機械の導入や補助金の活用等に関する相談等があれば協力してまいります。

伐採箇所については、宜名真、楚洲、辺土名地区を中心に計画をしております。作業道については、今年度施業予定の楚洲地区において整備を検討しておりますが、一部県有地も含むことから今後、沖縄県と使用許諾の調整を進めてまいります。効率の施業を進める上で必要となる作業道の整備計画は随時検討してまいります。

**問** 本村ならではの特用林産物「ブナシメジ」をはじめ、加工木工品等の林産物を利用した生産販売の強化に努めるとあるが、シイタケ等キノコ生産販売事業に取り組みべきと考えるが、国頭村森林資源における木質バイ

オマス発電の成長産業化に向けた可能性について村長の所見を伺う。

**答** 村長

キノコ類の生産販売事業については、東村で「シイタケ」の生産工場が整備されましたが、一方で「ブナシメジ」を生産していた金武町の工場が業績不振を理由に生産を中止している情報もあります。それらの情報に加え需要などの現状を精査及び把握した上で、事業化の必要性も踏まえ検討する必要があると考えております。

現在、原油高騰等の理由により電気料が高騰している状況にあり、原油の代替エネルギーとして再生エネルギーに注目が集まっているところであります。その一つとして、木質バイオマス発電が挙げられると考えます。木質バイオマス発電の原料については、未利用木質廃棄物をペレット化した物や農地等で栽培された草本系バイオマス原料の栽培が挙げられますが、森林伐採によるペレット生産はコスト面では非常に厳しい状況であることが想定されます。成長産業化に向けては大規模な調査が必要

であり、村単独事業としては困難な状況であると考えております。



国頭きのこ園  
工場内

**問** 国頭村の林業振興施策推進についての（仮称）国頭村の持続可能な林業振興に取り組む協議会・委員会等設置状況について、令和5年度第一・四半期開催をめどに、現在する委員会等を再開するか、新たな組織を設置するかについて、森林組合と協議、検討をしておりますとの答弁でしたが、その後の進捗状況を伺う。

**答** 村長

協議会・委員会については現存する森林組合経営改善委員会を再始動の方向で調整が済んでおります。去った5月31日に行われた国頭村森林組合の第39回総会においても出席者から経営改善を求める意見があり、委員会を再始動させ取り組んでいく旨確認したところでございます。



山城 弘一  
議員

国頭村方面への高規格  
道路の延伸について

**問** 国頭・大宜味・東村の3村で推定期成会を立ち上げ、国（内閣府国土交通省）に要請活動ができないか

**答** 知花靖 村長

令和5年4月27日、名護市民会館において北部地域の道路網の整備促進並びに離島架橋の早期実現に向けた決起大会が開催されました。

大会で採択された決議に「ユネスコの世界自然遺産に登録された沖縄島北部「やんばるの森」が位置する大宜味村、東村、国頭村方面への高規格道路の延伸について具体化すること」が明記されております。

5月17日に北部振興会長として、沖縄担当大臣及び国土交通省、沖縄選出国會議員に大会決議について要請をしまいいりました。3村で期成会の立ち上げ

については検討をしまいいります。



名護東道路

村内の国道58号線未整備  
区間の早期事業採択  
について

**問** 宇嘉・座津武間未整備区間の早期事業採択に向けた要請について

**答** 村長

沖縄総合事務局や北部国道事

務所との行政懇談会等で、この件については毎年要望を出しております。しかしながら、山側は道路端から急峻な地形となっており、地理的条件により歩道が未整備となっている状況であります。

当該区間の歩行者の安全確保の観点から、注意喚起をするためカラーラインの整備等について北部国道事務所が公安委員会等と協議を進めており、実施設計が完了次第、報告を受けることとなっております。

**問** 謝敷・佐手間の未整備区間の要請について

**答** 村長

謝敷・佐手間の未整備区間についても、沖縄総合事務局や北部国道事務所との行政懇談会等で要望をしております。北部国道事務所としては、整備した護岸コンクリートの上部に歩道が整備できないか検討をしているようであります。

また、一部張り出し歩道等の検討が必要な箇所もあり、仮に当該箇所で台風や冬場に越波が発生した場合、張り出し歩道部については、構造的に課題があ

り、今後も現場の状況を確認させていただきたいと伺っております。

国道事務所としては、暫定的に山側に歩道を整備する計画を進めており、5月8日に区の役員会に説明会を実施したと伺っております。



宇嘉未整備区間





渡口 直樹  
議員

### 教育行政（学校教育の充実）について問う

**問** こども園は、ゼロ歳児から5歳児までの教育・保育を担い、子どもと保育教諭等が共に学び合い支持的風土に満ちたこども園を示し、多くの職員が勤務する中、学級内や園内における職員間の連携及び情報の共有は重要とされる。総合的な提供の推進を図るため規則に定める職員配置は行われているのか。また新たな職員（会計任用職員）の採用試験等の計画、本村独自の優遇措置や給与の見直し等の考えはないか所見を伺う。

**答** 知花靖 村長

現在、こども園保育教諭の配置体制については、35名の保育教諭が勤務しており、その内訳としまして本務職員19名、会計年度任用職員であるフルタイムが6名、パートタイムが10名となっている。また、職員定数

条例や認定こども園規則による職員配置については、適切に行われておりますが、組織体制の見直しにより、会計年度任用職員のフルタイムがクラス担任等本務職員と同等の業務を行っており、待遇や業務バランスが課題となっている。

今後、会計年度任用職員を含む新たな職員採用については、役場全体として定員適正化計画に基づき実施していくことになりませんが、処遇改善等については、他の資格職や他市町村の状況を勘案しながら検討してまいります。

**問** 児童交流については、岩美町児童交流をはじめとし、古賀市少年の船児童交流・堺町中学生交流事業・世界自然遺産地域中学生交流事業、さらに与論町児童交流が調整中となっている。各事業ごとの目的達成に向け推進される中、これまでの振り返り検証はどうか伺う。

またカリキュラム・マネジメントを確立するため、各学校や子どもたちが主体とする計画が重要だと思いが、所見を伺う。

**答** 村長

本村の児童交流事業において、

3年間は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各交流事業の延期・中止など内容の見直しを行った。長年歴史のある岩美町児童交流事業で、お互いの特産品の交換やリモート事業などで交流を行ってきた。

本年度から4年ぶりに両町村とも児童交流団の派遣を計画しており、学校間の交流や児童間の親睦を図り、さらに両町村民が親交を深めていくことと考えている。

また、新たな交流事業などについては、児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を横断的な視点で組み立てるなど、学習指導要領においては推進が求められている。その点において本村における児童交流は、お互い自身が住む地域の歴史や文化、自然等について紹介し、主体的な児童交流が図られていると考えております。今後関係機関と調整しながら、学校運営に支障がないよう検討してまいります。

**問** 国頭村立学校統廃合検討委員会において、令和3年5

月7日付で教育長宛てに答申書が提出され、奥小学校・安田小学校及び安波小学校については存続することが望ましいとした。今後の老朽化対策、施設の長寿命化や耐震補強等の施設計画を伺う。また、持続的な学校運営を推進していくための重要施策を伺う。

**答** 村長

学校施設の整備計画については、耐震化及び長寿命化改良整備を進めている。今年度は、安波小学校及び安田小学校の各1棟について耐震補強及び長寿命化改良整備が計画されており、奥小学校の1棟については、耐震基準を満たしていることから、長寿命化改良整備のみを実施する。

地域の強い要望により学校存続を決定した以上、地域が主体となった地域づくりや施策の展開が必要になると考えています。現在、本村は山村留学や区管理の教員住宅無償貸与などの施策に取り組んでいる。

今後、各地域にある学校が休校という事態にならないよう地域を支援しながら、持続可能な学校運営の確立に向けて取り組んでまいります。



島袋 晴美  
議員

国頭村立総合体育館の  
今後の運用計画について

**問** 外壁劣化、建物内外に破損が多く修繕を繰り返しているが、残る耐用年数の修繕計画、耐用年数経過後の計画などはあるか。また、2034年の沖繩国体を見据えた村の方針や考えを伺う。

**答** 知花靖 村長

国頭村立総合体育館は建設から約40年が経過している。

昨年度の「建築物定期検査」により今年5月末に修繕を完了した。屋上にあるパネル、その他の箇所も計画的に撤去、修繕に取り組みたい。耐用年数後の計画は「国頭村公共施設等総合管理計画」に基づき今後の維持管理について検討する。

沖繩国体については今後の動向を注視したい。

**問** 耐用年数までとわすかの中修理修繕にも限界があると思

うが

**答** 山城修 総務課長

各施設の個別計画、長寿命化計画に沿って改修、あるいは更新、新築、解体と、計画的に実施できるように検討することになる。

**問** 新たな体育館の建設場所、国体誘致については

**答** 宮里光 教育課長

現時点では未検討だが、今後はスポーツ審議会と審議して方向性を決めていく。

海浜等ごみ収集後の  
対応について

**問** 世界自然遺産に登録されて以降、地域住民の環境美化への自主的な取り組みは多くなっている。善意で集められた危険ごみ、大型ごみ等放置されている。収集された後の対応を看板等で周知するなど方策があるかを伺う。

**答** 村長

ビーチクリーンを行うボランティア団体が増加している。回収して放置していくことが課題である。村ホームページに海岸漂着ゴミの集積場所、分別方法、

ゴミ袋の提供などの案内を掲載周知している。公民館にもチラシを掲示しさらに周知を図って取り組んでいく。

**問** 看板やごみ箱などの設置、計画的な回収、ポイ捨てや放置ごみを減らすためのアイデアなどはないか。

**答** 小橋川安広 環境保全課長

文言も古く劣化した看板等の撤去や新設については、今後検討したい。

**答** 村長

看板等については検討している。ゴミ箱等の設置を試験的に実施したい。



住民の善意が無駄にならないような方策を

遊泳区域設置について

**問** 県内外多くの自治体は夏季

期間中、地域住民や観光客の海水浴中の安全を確保するために海浜に遊泳区域を設置しているが、国頭村はなぜ遊泳区域を設置しないのか伺う。

**答** 村長

遊泳区域の設置は、漁業等関係機関との調整が必要となるほか、駐車場及び管理棟の確保、監視員の配置など、現状としてクリアすべき課題が多い。

沖繩に訪れる8割の観光客の目的は「海で遊ぶ、海で癒される」である。ハブクラゲの発生率も年々増加している。「自己責任で好きなどころで泳いでください」では無責任すぎる。世界自然遺産の森とつながりがある美しい海で泳いだり、のんびりできたりしますという場所ができたなら、もっとたくさんのお客様が訪れ、沖繩で一番の観光地になることも可能ではないか。

**問** 辺戸岬には年間どのぐらいの数の観光客が訪れているか。

**答** 前田浩也 商工観光課長

令和4年度は42万人、3年度は38万人の入込があった。





山川 安雄  
議員

## 木育普及啓発活動の 必要性

**問** 首里城復興に国頭村の森からオキナワウラジロカシが献上された。このカシの木の枝や端材でおもちゃやお箸を創り、余すことなくしっかりと利用できるよう進めるとのことであったが、進捗状況を伺う。

**答** 知花靖 村長

首里城復興事業において国頭村から収穫された木材について、その一部を自由に活用してもいい旨の連絡を受け、国頭村森林組合の倉庫に保管をしています。その活用方法について今後検討してまいります。

また、これまでの作業で発生した端材、今後発生する端材についても、その活用方法について沖縄総合事務局と協議を進めてまいります。

**問** 森林業「森林の持つ全ての

恵みを人と生き物が持続的に享受する」という考え方からすれば、やんばるの森は人の生活と森が非常に密接につながっていた。森林公園の中に展示林をつくり木育環境教育を考えて普及啓発できないか。

**答** 田場盛久 農林水産課長

展示林の構想については森林公園の運営協議会の中でも話題が上がっています。小規模であれば森林公園内でもつくる場所がある。近くにも活用できる村有林もあるので、将来的には必要であることは認識しています。

## 地域福祉の現状と課題

**問** 先日、村内福祉施設役員、職員と議会の意見交換会が行われた。現状は入所者、待機者とも減少し、入所者ベッド数も減少している。職員も足りており、離職率も低いとのことであった。楚洲あさひの丘は国頭村役場から生活支援ハウス補助金2千2百88万1千円、楚洲へき地保育所運営補助金2千1百46万3千円が助成されているが、施設設置の目的、運

営の現状と課題はどのような評価をしているか伺う。

**答** 村長

楚洲あさひの丘は、複合施設として整備を行い、平成18年6月1日より社会福祉法人「容山会」を指定管理者として供用を開始しています。

「生活支援ハウス」の現状は、支援員の離職により14名定員のところ10名の受入れ、「デイサービスセンター」は1日平均10名の利用となっています。昨年11月から職員の確保などについて、指定管理者との情報交換を行っているが新たな人材確保ができておらず、隣接するデイサービスセンター職員の応援を受けて、運営を行っている状況であります。

**問** 支援ハウスに入所したい村民の声、待機者はどれぐらいいるのか。14名が入所した場合は何名の職員が必要か。

**答** 新里智 福祉課長

支援ハウスの職員は本来3名が必要ですが、離職されて、現在は1名の職員が張り付けされている。足りない分はデイサービスセンターからの応援を受け

て運営しています。待機者は、男性3名、女性が6名で、2人の職員が確保できれば定員の14名の入所ができる状況になります。

**問** 福祉サービスをしっかりと提供できるように、役場と指定管理者、現場がこれまで以上の連携を取って頑張らないと厳しいものがある。村民の福祉、福祉難民を出さないという村長の意気込みを伺う。

**答** 村長

特に東部地域の福祉というのは、辺土名から離れていて非常に不便さがある。ここは平等にしっかりとやるべきことであります。最近スタッフが足りないというのが一番課題ではあると思っています。先ほど2階の宿泊施設の件もありましたが、役場内部でしっかりと議論を深めて、また指定管理者とも話し合いを進めていきたいと思っています。

## その他質問

集落放送の難聴対策、住居不足問題、アストロリズム（星空観光）の可能性について





大田 孝佳  
議員

国頭村立東部へき地  
診療所の車両  
及び施設について

村内4地区、奥、楚洲、安波、安田を対象とした、医療サービス（診療・訪問診療・健康相談・予防接種等）を行い、地域住民の方々に安心して健やかな生活を営んでいただくための東部へき地診療所の充実に向けて以下の質問を行う。

**問** 備品として使用している車両はすでに耐用年数が過ぎているが、買い替える考えはあるのか伺う。

**答** 知花靖 村長

車両につきましては、平成24年度の沖縄県へき地診療所等設備整備費補助金を活用し、へき地患者輸送車として使用しています。車両の修理や車検の際には役場の公用車を台車として貸し出し、患者の送迎をしています。導入から11年が経過し、故

障等も多くなってきたことから、次年度の整備を検討してまいります。

**問** 診療所の玄関は大雨が降ると車両で来る患者が出入りする際に、濡れる状況で患者及び診療所スタッフも嫌な思いをすると思う。玄関先に車庫兼雨よけ軒を設置する考えはないか伺う。

**答** 村長

車庫兼雨よけ軒先につきましては、指定管理者の地域医療振興協会、当該診療所医師等の意見も聴取し、協議を重ねていきたいと考えています。

**問** 4月に調査を行った際に、診療所手前の道路に止めざるを得ない状況であったが、現在の診療所の駐車スペースはどうなっているのか伺う。

**答** 新里智 福祉課長

診療所の駐車場につきましては、診療所の前のほうのちよつとしたスペースに、この診療所の敷地内の入り口のほうですね。そこが通常駐車場という形になっていきます。診療所職員の方々に確認しても、そこで混雑

するようなことはないということも確認を取っています。

**意見**

緊急時に、そこにスタッフ止めたら入りづらくなるし、いろいろと支障をきたしますよね。そういう意味で駐車場の確保という必要性を感じたということです。やはり地域の方も医療施設が必要ですので、区長を通すなりして、ぜひあと3台ぐらいは。道ではまずいだろうなというふうに思いますので、その辺は検討を進めてください。

**問** 施設の点検、整備について、今後の村の考えを伺う。

**答** 宮城明正 副村長

県から無償で貸与していただいていることから、その維持管理についても村のほうで当然しっかりとやらねえといけない。公共施設管理計画の下にしっかりと点検、定期的な補修をしながら維持管理に努めていきたいと思っています。

比地橋に隣接する  
公園について

**問** 比地橋に隣接する公園は、これから夏を迎えると河川での水遊びや、キャンプ等での活用

が予想される。公園内の樹木も大きくなり木陰で楽しむ家族連れや、友達同士のバーベキューも昨年は行われていた。公園管理体制と現在設置されているテーブル及び椅子の状況を伺う。

**答** 村長

公園管理体制については、現在、村道奥間川代志線の維持管理をする際に、公園内の草刈り等を実施している状況であります。公園内に設置してあるテーブル椅子一式については、経年劣化による腐食破損していることは確認をしています。

安全管理のためにも早急に撤去し、今後、安全対策も含め定期的な草刈り等、公園管理に努めてまいります。

また、自然環境に恵まれた川沿いのロケーションでもありますので、快適に利用ができるよう、新たなテーブル等の設置も検討したいと考えています。





山城 正和  
議員

## 令和5年度中に行政懇談会の開催ができないか

**問** この時期に村民に対し村政の現状と課題等を説明し、村民から直接行政に対する意見を聞く機会となる各集落単位での行政懇談会の開催は、平成28年度の行政懇談会の検証結果を踏えて開催する意義は、アフターコロナに向けた行政の戦略を進める上で各分野に大きく反映できるものと期待されますので、全庁を挙げて議論され、令和5年度中に行政懇談会の計画開催ができないか伺う。

**答** 知花靖 村長

行政懇談会は、地域住民と対話をし、ニーズを把握する意味では重要な取組だと認識しています。平成28年度までの間、4年周期で行ってきた行政懇談会でしたが、令和2年度の行政懇談会は新型コロナウイルス感染症の影響で見送り、現在に至っ

ています。今年度の開催については、様々な状況等を踏まえ検討してまいります。

**問** 非常に答弁の歯切れが悪いものですから、もう令和5年度中は実施しませんとか、ならば聞こえもいいですよ。やる・やらないも分からないというふうな格好ですよ。どうですか。やる意思がある、ないのであればない。

**答** 村長

先ほど答弁しましたが、様々な状況等を踏まえ、再度また課長会議等で議論をして検討してまいります。

## 環境保全協力金の制度仕組みの検討は進展しているか

**問** 令和3年3月定例会で入域料あるいは協力料などの制度化の取組の進捗状況など現状を質問したが、その後、行政による具体的な制度設計と実施の時期や必要性の検討など、現状どう進展しているのか伺う。

**答** 村長

環境保全協力金については、

環境保全の財源確保の観点から必要であると認識をしています。沖縄県による宿泊税の導入検討など、新たな取組が計画されていると伺っており、環境保全協力金の制度設計に向けては慎重な調整が必要と考えています。

そのことから、協力金の徴収方法やガイドとの調整など具体的な制度設計には至っていないのが現状であります。令和3年3月定例会でもお答えしましたが、現在は、ふるさと納税による寄附金で対応をしており、令和4年度実績では、ふるさと納税総額2億3千6百万円のうち、環境保全に活用してほしいと寄附をいただいた額は3千4百万円、総額に占める割合は14.5%で、ふるさと納税者が環境保全に対する関心度が高いことが伺えます。

今後、ふるさと納税の活用による環境保全を継続するとともに、環境保全協力金の取組については、世界自然遺産地域の3村での広域的な取組の検討や関係機関と導入に向けた意見交換を進めてまいります。

## 宿泊税の導入で観光資源の保全に活用する財源確保を求める

**問** 県内外で宿泊税導入に向けた取組の動きがある。本村も世界自然遺産登録地の地名度を生かした観光振興を図るため、観光資源の保金や施設管理に係る経費の財源の確保は重要な課題であることから、宿泊税導入の準備を検討するプロジェクトチームを設置し、宿泊税の導入を推進する取組ができないか伺う。

**答** 村長

県内市町村では、ホテル数が多い5つの市町村が宿泊税導入に向けて検討している状況となっております。そのような状況の中、本村で宿泊税を導入しても税収規模が小さいことと、利用者からすると宿泊料金が高くなる印象を与えるなどの客足が遠のくおそれが懸念されることもあります。本村としては沖縄県などの宿泊税導入に注視しながら、当面の間は宿泊税の導入は見送ることとし、引き続き滞在型観光コンテンツの開発とホテルの誘致に取り組んでいきたいと考えています。



# 文教経済委員会所管事務調査研修報告書

**調査期間:** 令和5年2月1日(水)～2月3日(金)

**調査場所:** 石垣市

**調査目的:** ①八重山南風堂株式会社: 六次産業化の取組みについて

②石垣市役所: バイオマス資源の活用について

石垣牛ブランド化に至るまでの取組みについて

## ①八重山南風堂株式会社

石垣島産紅芋品種「沖夢紫」を使った菓子の生産販売とペースト加工製品を製造する紅芋加工場で、「沖夢紫」の栽培技術指導を会社主導で栽培契約農家に実施している。栽培契約農家からは、全量を一律単価で買い取り、紅芋1KGあたり1円の紅芋農家生産者の生産活動運営費に充当している。

農家は会社が紅芋全量を買上げるため安心して意欲的に生産に努力され、サトウキビより単収益が多く、連作障害対策として農耕地の輪作を行っている。また、学校給食にも紅芋菓子が提供されるなど、品質とブランド化に自信と誇りを持って企業活動に取り組み、八重山空港にも直売店を設け、販路拡大につなげていた。



## ②石垣牛ブランド化に至るまでの取組みについて

石垣市の農業の概要は、肉用牛の生産頭数は県内生産頭数の約30%を占めており、県内有数の肉用牛の供給生産地として一定の地位を占めている。石垣牛ブランド化について、平成12年沖縄サミット晩餐会にて食されたことで、名声が高まり、その後「石垣牛」を特許庁より登録が認可されたことで更に需要が増え現在に至る。各農家及び八重山食肉センターにより飼養頭数の拡大が図られたことで、島内需要は安定しつつある。令和4年12月に八重山家畜市場で行われた子牛の競りで、国内過去最高値の11,000千円余の落札額が出たことがマスコミでも大きく報道され注目を集めた。

### むすびに

今回の石垣市での調査事例に共通していることは、すべて民間主導による新しい産業創出で地域産業振興の発展に大きく貢献している成功事例である。

本村地域資源を活かした持続可能な新しい産業創出を目指して、意欲的なノウハウをそなえた民間企業の積極的な誘致を推進すべきと提言します。



## 令和5年度北部市町村議会議員・事務局職員研修会 及びスポーツ・レク大会

4年ぶりの開催となる北部市町村議会議員・事務局職員研修会及びスポーツ・レク大会が令和5年7月3日（月）に地元国頭村にて開催されました。

北部12市町村議会議員・事務局職員総勢170名余りの参加となり、各市町村間の親睦を深める機会となりました。講演会には講師として国頭村観光協会会長の比嘉明男氏を迎え「世界自然遺産と北部観光」と題した講演会、スポーツレクは鏡地パークゴルフ場にて、村内視察はウフギー自然館・国頭村観光物産センターの視察など、盛沢山の内容となり有意義な研修会・交流会となりました。



### 議会傍聴へのおさそい

村議会は3月・6月・9月・12月と年4回の定例議会が開催されます。9月定例会は9月8日（金）開会予定です。日程が決まり次第、ホームページでお知らせいたします。  
※役場1階ロビーのテレビでも議会を視聴することができます。

### 一般質問の内容は

一般質問通告書の質問・答弁を基本に（会議録に基づき）各議員でまとめ、議会広報委員会が確認したものを掲載しています。

## ゆんたく さびら



森林公園展望台（※日経新聞からの引用）

### 世界の宝 やんばる国頭の森と星空

7月26日世界自然遺産に登録されて3年目を迎えました。やんばるはポテンシャルがすごく高いと、言われて久しいです。その一つが漆黒の森に育まれた星空です。私たちが普通に見ている天の川、さそり座や流れ星、周りの森からはヤンバルクイナや希少なカエルたちの鳴き声、ここでしか味わえない「贅沢な時空間」です。今、地元生まれの「土の人」と外から来られた「風の人」、「旅の人」が融合し、良い化学変化を産み、持続可能な豊かなやんばる国頭造りの時が来たような感じがあります。みんなで可能性を形にしよう。

山川 宥雄